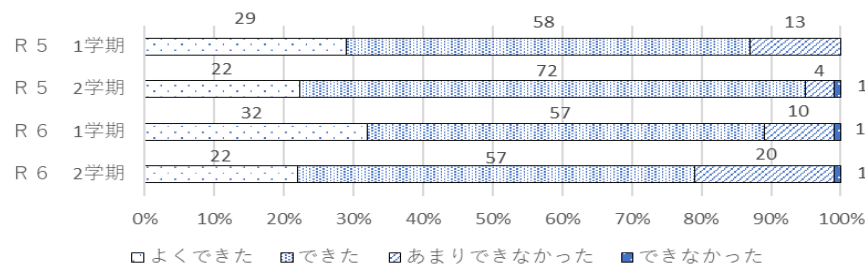


まなびフェストの家庭の取組「メディア機器の使用に係る約束(保護者の振り返り)」

「リクタカルール」をもとに、メディア機器の使い方のルールを親子で話し合ったり、振り返ったりしています。



まなびフェストの「メディア機器の約束」に係る保護者の振り返りによると、達成率(肯定的評価)は、80%以上の値を示しており、概ね満足を得ている結果となりました。

しかし、「あまりできなかった」の評価が増加傾向になっており、スマートフォンやタブレット、ゲーム機の使用に係るルールや振り返りがなされていない傾向が窺えます。使用時間のルールについては、逸脱した使用時間や使用頻度が心配されており、やりすぎによる基本的な生活習慣の乱れや学校生活における集中力の欠如、情緒的な不安定さが学校生活で見られます。各家庭の協力が必要な状況です。



学校教育目標

＜心を耕し 根っ子を育む ～挨拶、姿勢、認め合い～＞

健康で明るい子



心豊かで思いやりのある子



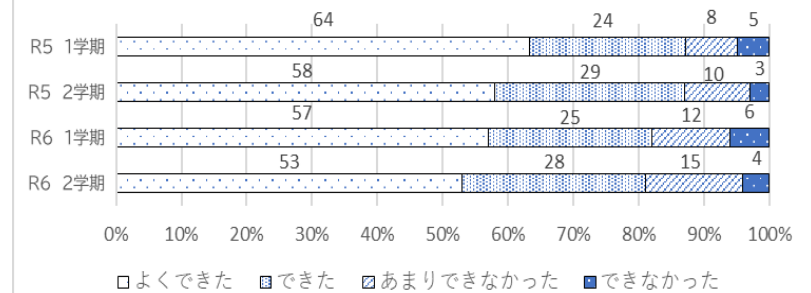
よく考え最後までやり抜く子



知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ▶心と体の健康を保つための方法を考え判断し、健康で安全な暮らしを送ろうとする。 ▶時と場をわきまえてあいさつをするとともに、礼儀正しく明るく生活する。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶自他の命や体が生命のつながりの中にあるかけがえないものであることを理解し、大切にしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶物事に関連付けて深く理解するとともに、状況に応じて活用できる技能を身に付け、問題解決に生かす。
思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ▶震災・津波の経験を踏まえ、危機を予測して自他の命や体を守るとともに地域のためにできることを考え、活動に進んで参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶よりよい判断にしたがって、自分の考えを伝えとともに、謙虚に広い心で、自分と異なる考えや立場を尊重する。(認め合い) 	<ul style="list-style-type: none"> ▶順序立てて考えるとともに、多様な考えを理解し、自分の考えを広げたり、自分の考えを相手に分かりやすく伝えたりする。
学びに向かう人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ▶生活や学習について、より高い目標をもち、自己に合った解決方法を決め、ねばり強く努力し続ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶自他の思いや立場を調整し、互いにかげがえのない存在として、よりよい人間関係を形成しながら学校生活の充実と向上を図ろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶自己の学びの価値を振り返ったり、次の学びにつなげたりしながら主体的に学ぼうとする。

児童の生活の振り返り。(経年比較)

言葉遣いに気をつけながら生活しましたか。



「言葉遣い」の振り返りにおいて、経年変化から窺えることとしては、80%以上の達成率から概ね満足が得られる結果となっています。

しかし、子ども達の自己評価からは、積極的肯定評価に伸び悩みが見られ、2 年間で、減少傾向にあります。それに伴い消極的評価については、増加傾向にあり、相手の状況を想像せずに他者を傷つけてしまっている現状が生徒指導の問題として、浮き彫りになってきています。子ども達には、SNS 等を通じて、他者を誹謗中傷する行為に至ってほしくないと願います。

目指す姿	学校の取組	家庭の取組	地域の取組
健康で明るい子	<ol style="list-style-type: none"> 【生活の基本の確立】 相手や場に応じた挨拶や返事を習慣化させます。 【健康な生活づくり】 保健指導や食育指導を通して、元気に登校する子どもを育てます。 【健康な体づくり】 めあてをもって体力づくりに取り組ませながら、運動習慣を育みます。 【安全指導の徹底】 避難訓練や不審者対応訓練等を実施し、自分の命を守ることができる子どもを育てます。 	<p>【生活習慣づくりのために家庭で取り組むこと】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 家族間の挨拶や返事をほめて促します。地域の方々とも挨拶を交わすことを促し、明るく感謝する心を育みます。 2 「歯磨き、早寝・早起き・朝ご飯」を習慣化させ、生活リズムを整えます。 3 徒歩通学を促し、粘り強く取り組む心を育みます。 	<p>【安全な地域づくり】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 子どもたちが安全に生活したり、元気に学校に通ったりすることができるように見守ります。(見守り隊の活動等) 2 不審者から子どもたちを守るため、助けを求められた時は、安全・安心な居場所を提供します。
心豊かで思いやりのある子	<ol style="list-style-type: none"> 【活動の充実】 言葉遣いに気をつけながら、認め、思いやり、協力する心を育みます。 ＜学級活動、異年齢集団活動（縦割り掃除、集団登校）、学校行事等＞ 【規律ある生活づくり】 学校生活のきまりを守り、みんなのことを考えて生活する態度を育みます。 【読書活動の充実】 本に親しませる機会を設定し、豊かな心を育みます。 【教育相談の充実】 一人一人の言葉に耳を傾け、子どもの困っていることや不安を早期に発見し、素早く対応します。 	<p>【心づくりのために家庭で取り組むこと】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 子どもの話をよく聞き、言葉遣いに気をつけた生活を心がけます。【会話のコツ】会話の時間を作り、目を見てゆっくり、共感してほめる。 2 週末読書や親子読書に取り組み、考える力や心を耕します。 3 「リクタカルール」をもとに、メディア機器の使い方のルールを親子で話し合ったり、ルールを振り返ったりします。 	<p>【心の通ったコミュニティづくり】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 登下校時には、積極的に子どもたちに声を掛け、つながりをもつようにします。 ＜励ましの声の例＞ ・「がんばって歩いているね。」・「交通ルールを守っているね。」 ・「元気に学校に通っているね。」 ・「気持ちのいいあいさつだね。」
よく考え最後までやり抜く子	<ol style="list-style-type: none"> 【一人一人を伸ばす授業づくり】 「わかる」「できる」を感じさせ、一人一人の資質・能力を伸ばします。 【学びの基礎づくり】 授業では、諸調査結果を活用して、一人一人の子どものつまずきを把握し、各教科等における基礎・基本の定着を図ります。(ICT 機器の効果的な活用) 【学習習慣づくり】 授業と連動させた家庭学習の内容や分量、取り組ませ方を点検し、「家庭学習チャンピオン」の取組を生かしながら家庭学習の習慣化を図ります。 【きめ細やかな指導・支援】 学級や子どもの実態に即し、きめ細やかな指導・支援に努めながら、最後まで、粘り強く取り組む子どもを育てます。 	<p>【学習習慣づくりのために家庭で取り組むこと】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 家庭学習では、「家庭学習の手引き」をもとに、計画的に進めたり、ノーマディアで集中して最後まで粘り強く学習したりすることを促します。 ＜目安＞1・2年生:20分～,3年生:30分～,4年生:40分～,5年生:50分～,6年生:60分～ 2 タブレットを活用した宿題等に取り組むことを促します。 3 学習用具をしっかりとそろえることを促したり、点検したりします。 	<p>【学校を支える地域づくり（地域学校協働活動への参画）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学校支援ボランティア活動に進んで協力し、教育活動を充実させます。 ＜ミシンボランティア、調理実習ボランティア、校外学習・見学引率補助ボランティア、放課後見守りボランティア等＞ 2 ゲストティーチャー等、学習の講師として協力できるように努めます。

